

# ほかにも！紫式部ゆかりの滋賀スポット

## なむら 苗村神社



苗村神社は、藤原道長の時代(1017年)に朝廷に門松の苗を献上したことから「苗村(なむら)」の名を下賜されたという由緒があります。ひときわ目をひく楼門は室町時代に建立されたもので重要文化財に指定されています。このほか、国宝の西本殿や重要文化財の八幡社本殿などの見どころが数多くあります。

蒲生郡竜王町鏡戸 467 ☎ 0748-57-0160 (苗村神社) / 拝観無料 / 拝観時間 9:00~17:00 / JR近江八幡駅下車バス約15分、「鏡戸北」から徒歩2分

## みかみ 三上山



別名「近江富士」とも呼ばれる三上山は、見事な富士形の山が古来から親しまれてきました。紫式部は三上山を題材に「打ち出でて三上の山をながむれば雪こそなけれ富士のあけぼの」という歌を詠んでいます。標高432メートルの三上山は手頃な登山スポットとしても人気で山麓には国宝の本殿を持つ御上神社があります。

野洲市三上 ☎ 077-587-3710 (野洲市観光物産協会) / JR野洲駅下車バス約8分「山出前」から徒歩1分あるいはJR野洲駅下車徒歩約40分 (いずれも登山口まで)

## いぶき 伊吹山



紫式部は伊吹山を見て「名に高き越の白山 ゆきなれて伊吹の嶽をなにとぞ見ね」と詠んでいます。滋賀県最高峰の標高1377mの山頂からはびわ湖や比良、比叡の山々や伊勢湾まで見渡せる大パノラマが広がります。山頂のお花畑は、国の天然記念物に指定されており、春から秋にかけて様々な花の姿を楽しむことができます。

米原市上野ほか ☎ 0749-51-9082 (びわ湖の素DMO) / 名神「米原」ICから伊吹山ドライブウェイ経由約40分 (麓からの登山道は現在通行止めです。)

## ひむれ 日牟禮八幡宮



紫式部が仕えた一条天皇の勅願により造営されたとの由緒をもつ日牟禮八幡宮は、木造入母屋造の立派な楼門や拜殿、本殿などが見どころです。近くには時代劇のロケ名所として有名な八幡堀があり、昔ながらの町並みを和船から眺めることもできます。八幡山にはロープウェイもあり山頂から一望できる町並みやびわ湖の景色もおおすすめです。

近江八幡宮内町 257 ☎ 0748-32-3151 (日牟禮八幡宮) / 拝観無料 / 拝観時間 9:00~17:00 / JR近江八幡駅下車バス約7分、「八幡堀」から徒歩3分

# 平安を感じられる滋賀の注目スイーツたち

## かめやひろふさ 亀屋廣房の「石山寺源氏窓」



紫式部が源氏物語の構想を練った石山寺の「源氏の間」の窓をイメージした干菓子です。徳島の阿波和三盆と葛で作られており、口どけの良さと上品な甘さが楽しめます。亀屋廣房は城下町膳所にて、昭和16年より店を構えている老舗でこだわりの和菓子を作り続けています。

大津市本丸町 3-7 ☎ 077-522-3927 ※臨時休業することもありますのでご来店時はなるべく事前にお電話ください。 9:00~16:00 @日・祝・不定休

## かのう しょうじゅあん 叶 匠壽庵の「葛焼き染め筆」



石山寺に伝わる紫式部の硯を和菓子で表現したやわらかく香ばしい、黒豆と小豆の素朴な葛焼き。濃薄の異なる二つの味で、紫式部の硯に彫られた鯉と牛を表現しています(「葛焼き染め筆」の販売は石山寺店のみ)。このほか叶 匠壽庵では、百人一首の絵柄を取り入れた「あも歌留多」などを販売しています。

【石山寺店】大津市石山寺 1-576-3 ☎ 077-534-6331 10:00~16:30 (LO16:00) @水曜日 (変更する場合あり)

## こかぶ 古株牧場のチーズ作り体験



藤原道長は「蘇」といわれる古代チーズに蜜を加えた「蘇蜜煎」を病気の時に食べていたそうです。好物だったのかもかもしれません。竜王町の古株牧場では、3種類のチーズとバターを手作りできる体験メニューを用意しています(要予約)。手作りチーズにはちみつをかけて召し上がってみては？

※ チーズ作り体験は毎月4金曜日・第4土曜日のみ(要予約) 蒲生郡竜王町小口不動前 1183-1 ☎ 0748-58-2040 10:30~18:00 (11月~3月は10:30から17:00) @水曜日 (8月は無休)

## ひやくわらい 氷茶屋 百笑のかき氷



清少納言の枕草子に「あてなるもの(上品なもの)」として登場するかき氷。これは日本最古のかき氷の記述なんです。彦根市のかき氷専門店「百笑」では、年間通じてイチゴやマンゴーなどのフルーツをふんだんにあしらったかき氷や珍しいティラミス味のかき氷などが楽しめます。

彦根市河原 3-4-25 ☎ なし (店舗情報はInstagram「hyakuarai」をご覧ください) 11:00から18:00 (LO17:30) @火曜日 (11月~3月は火・水が休店日)

# 平安の香りただよう滋賀の伝統文化

## まるさん 丸三ハシモトの楽器糸



平安時代、琴をはじめとする楽器は貴族のたしなみとして普及し、宮中などでは雅楽が盛んに演奏されました。長浜市木之本町の丸三ハシモト株式会社は、明治41年創業。琴や三味線などの楽器糸の製造メーカーとして、伝統の技を守りながら、美しい音色のための製品作りを行っています。

長浜市木之本町木之本 1427 番地 ☎ 0749-82-2167

## はんけいどう うんべいよで 攀桂堂の雲平筆



中国から伝来した筆は我が国で独自の進化を遂げ、平安時代の国風文化を支えました。攀桂堂は、元和年間、京都にて筆工を営業し、正徳年間に当時の関白・近衛基経(よしの)院家照公より「攀桂堂」の号を賜りました。天平筆をはじめとする和紙を巻く巻筆の技術を今に伝えています。

高島市安曇川町上小川 90-6 ☎ 0740-32-0236

# 紫式部と平安文化ゆかりの地 周遊ガイド

# 滋賀・びわ湖



大河ドラマ「光る君へ」の主人公・紫式部は大津市にある石山寺で「源氏物語」の構想を練ったといわれているなど、滋賀県内には紫式部や源氏物語ゆかりの地が数多く存在します。ぜひこの機会に滋賀県を訪れて、紫式部・平安ゆかりの地や大河ドラマ館めぐり、紫式部たちが目にした当時の風景に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



石山寺 (大津市)



紫式部像 (大津市(石山寺))



白鬚神社 (高島市)



三井寺 (大津市)



竹生島 (長浜市)



三上山 (野洲市)



G 日曜 午後8時00分 / 再放送 翌土曜 午後1時05分  
BS BSP4K 日曜 午後6時00分 BSP4K 日曜 午後0時15分

## 大河ドラマ「光る君へ」

主人公は紫式部、千年の時を超えるベストセラー「源氏物語」を書き上げた女性。光源氏=光る君のストーリーの原動力は秘めた情熱とたぐいまれな想像力、そして一人の男性・藤原道長への想い。変わりゆく世を、変わらぬ愛を胸に懸命に生きた女性の物語です。



NHK 大津放送局

# 紫式部・びわ湖の旅 ～湖国に残した足取り～

平安時代中期の長徳2年(996年)、紫式部は、越前守となった父・藤原為時と同行し、越前での日々を過ごしました。びわ湖の湖上交通は古くより盛んでした。紫式部は大勢の従者たちとともにびわ湖の西岸を船で北上して、塩津港から塩津海道や深坂峠を越えて越前に向かったとされています。その後、紫式部は1年余りで京に戻りますが、そのときはびわ湖の東岸を船で進んだといわれています。紫式部がたどった湖国近江の道のりをしのぶ旅に出かけましょう!

紫式部ゆかりの近江の地めぐり

県内レンタサイクル店情報



## 6 しらひげ 白鬚神社



打出浜を出発した紫式部一行は三尾崎で一旦上陸し、一夜を明かしています。三尾は、白鬚神社の付近と考えられており、神社の境内には紫式部がこの地で詠んだ歌碑が残っています。「三尾の海に網引く民のてまもなく立居につけて都恋しむ」大意：三尾崎の浜で漁民が網を引く姿を見て、都での生活とはかけ離れた様子だったので、都が恋しく思い出される  
☎0740-36-1555(白鬚神社) / 拝観無料 / 拝観時間 9:00~17:00 / JR近江高島駅下車徒歩約40分あるいはタクシーで約5分

## 5 うちで 打出浜



紫式部がびわ湖を渡って旅立っていったと伝わる打出浜は、湖岸公園として整備され、憩いのスポットとなっています。また、近くのおの浜では、4月上旬から5月上旬になると芝桜が咲き誇り、びわ湖の青と芝桜のピンク色のコントラストが楽しめます。  
☎077-528-2772(びわ湖大津観光協会) / 見学無料 / 京阪電車石山本線石山駅下車徒歩5分あるいはJR大津駅下車徒歩約20分



## 1 塩津神社



越前に向かう紫式部一行は、船で塩津港に上陸し、塩津神社で道中の安全祈願をした後、深坂の急な峠道を越え、敦賀の港を目指したと伝えられます。また、近くの道の駅「塩津海道・あぢかまの里」の周辺には、深坂古道の道中で詠んだ歌碑も残っています。  
☎0749-53-2650(長浜観光協会) / 拝観無料 / 拝観時間 9:00~17:00 / JR近江塩津駅下車徒歩約40分あるいはタクシーで約7分

## 2 ちくぶ 竹生島



おそらく紫式部も湖上から目にしたであろう竹生島。周囲約2kmの島に宝厳寺と都久夫須麻神社が祀られています。宝厳寺の本尊である弁才天は日本三弁天に数えられます。「深緑竹生島の沈影」として琵琶湖八景の一つにも数えられ、近年ではパワースポットとしても注目を集めています。  
☎0749-53-2650(長浜観光協会) / 入島料あり / 拝観時間 9:30~16:30 / 長浜港から観光船で約35分(今津港、彦根港からも連絡船あり)

## 3 いそぎ 烏帽子岩・磯崎神社



越前に下向した翌年、紫式部は、びわ湖の東岸を経由して京に戻る途中、磯という地を経由し、びわ湖と鶴を見て心境を歌に詠んだと伝えられています。この辺りは昔から景勝の地として知られ、男岩・女岩の2つの岩がひとつに重なっているところから、『結びの岩』ともいわれる烏帽子岩を見ることができます。また、近隣の磯崎神社は日本武尊(ヤマトタケルノミコト)の終焉の地と伝わります。  
☎0749-51-9082(びわ湖の素DMO) / 拝観・見学無料 / 拝観時間 9:00~17:00 / JR米原駅下車徒歩約60分あるいはタクシー約11分

## 4 もも 百々神社・沖島



百々神社には、紫式部が近くの奥津島を望んで詠んだとされる歌碑があります。おいつ島 しまもる神や いさむらむ 波も騒がぬ わらはへの浦 ※現在の奥津島  
大意：奥津島を守る神様が諫めたのだから 波も静かなわらはへの浦  
「おいつ島」の場所には諸説あり、沖島だとする説もあります。沖島は日本唯一の淡水湖に浮かぶ有人島で、島内には昭和感のある懐かしい雰囲気の流れがあり、沖島漁業協同組合の婦人部の皆さんの手作りの湖魚料理などを味わうことができます。  
百々神社：☎0748-32-7003(近江八幡観光協会) / 拝観無料 / 沖島：☎0748-33-9779(沖島町観光協会) / JR近江八幡駅下車バス約35分 堀切港から通船(有料)で約10分

# 紫式部の筆はしる 源氏物語誕生の地 大津

## 石山寺

大津市石山寺 1-1-1 ☎077-537-0013(大本石山寺) / 拝観有料 / 拝観受付 8:00~16:00 / 京阪電車石山坂本線石山寺駅下車 徒歩約10分あるいはJR石山駅下車徒歩約35分



石山寺の正門である東大門は、鎌倉時代の建立とされますが、安土桃山時代の淀殿の寄進による伽藍再興の際、新築に近い大規模な修理が行われました。全体的に和様の均整のとれた重要文化財の門です。

国宝の本堂・多宝塔をはじめ、経典・聖教類、仏像、絵巻など多くの貴重な文化財を有する石山寺。奈良時代に聖武天皇の発願により良弁によって開かれた寺院で、平安時代には貴族らが盛んに「石山詣」を行っていました。中宮彰子から新たな物語の執筆を命じられた紫式部は、執筆祈願のため石山寺に7日間こもったとされています。また、本堂にある「源氏の間」は、紫式部が物語を起筆した部屋といわれています。



## 光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館 源氏物語 恋するもののあはれ展

石山寺明王院 期間限定開催中  
石山寺世尊院



光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館

光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館  
大河ドラマ「光る君へ」のテーマを深堀りした「大河ドラマ館」が石山寺の明王院にオープン。館内では、独自インタビューやメイキング映像を交えた大津で見れない映像を4Kシアターで上映します。ドラマに登場する衣装や小道具の展示など、平安文化と女性文学者たちの息吹を感じることができる展示を楽しむことができます。

## 源氏物語 恋するもののあはれ展

「大河ドラマ館」に隣接する石山寺の世尊院では、平安時代の「恋」を体感できる企画展「恋するもののあはれ展」を同時開催。イラストレーター日菜乃さん描きおろしのイラストや、音楽アーティストあたらよさんによるオリジナル楽曲で『源氏物語』の恋を現代的に表現。色・香り・花など平安時代の恋を彩った文化に触れるコーナーもあります。

【期間】2024年1月29日(月)~2025年1月31日(金)[原則無休]  
【時間】9:00~17:00(最終入場16:30) ※石山寺拝観時間8:00~16:30(入山16:00迄)  
【会場/入館料】石山寺境内 明王院・世尊院 / 入場有料(石山寺拝観料とは別に入場料が必要です。)  
【主催】大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会 ☎077-500-0100(光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館 運営センター)

## おさか 逢坂の関



京の都の東の出口に位置する逢坂の関は、古来交通の要所として栄えました。「源氏物語」では、光源氏と空蝉が偶然すれ違うシーンに登場します。近くには、清少納言等の和歌をはじめ、小倉百人一首に登場する逢坂の関を詠った歌碑が3つ設置されています。また、近くの「逢坂山かねよ本店」では、緑に囲まれながら名物のうなぎ重やきんし井をお楽しみいただくことができます。

## おんじょうじ 園城寺(三井寺)



大津市園城寺町 246 ☎077-522-2238(園城寺(三井寺)) / 拝観有料 / 拝観受付 8:00~16:30 / 京阪電車石山坂本線三井寺駅下車徒歩約10分あるいはJR大津駅下車徒歩約25分  
紫式部の叔父の康延と異母兄弟の定蓮は、園城寺(三井寺)の僧侶でした。また、藤原道長からの信仰も篤く、道長が奉納した弥勒菩薩が秘仏として伝わっています。1月29日(月)からは、「紫式部と三井寺」展が開催され、寺門伝法灌頂血脈譜・源氏物語湖月抄など三井寺所蔵の紫式部に関する品5点を初公開しています。あわせて平安・鎌倉・室町時代の仏像も公開します。